

# 令和 3年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 環境政策課

担当名: 計画推進・環境影響評価担当

内線: 3039

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B4	環境科学国際センター分析研究機器整備事業費		一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	環境科学国際センター費		
事業期間	令和 3年度～ 令和 7年度	根拠法令	環境基本法第36条			宣言項目 分野施策	051143 公害のない安全な地域環境の確保	SDGsゴール	SDGsターゲット
1 事業の概要			5 事業説明						
<p>環境の常時監視や、重大・緊急な環境問題の速やかな原因究明、新たな環境問題への対応など、センターに期待される役割と機能を果たしていくために、研究機器の整備を行う。</p> <p>(1) 環境科学国際センター分析研究機器整備事業費 △638千円</p>			<p>(1) 事業内容 環境科学国際センター分析研究機器整備事業費 旧公害センター時代から移管あるいはセンターの設立に際して購入した故障や機能低下の著しい機器、並びに、行政からの要望やセンター中期計画を考慮した研究遂行上必要な機器について、5か年(令和3年度～7年度)で計画的に更新、修繕(部品の追加を含む。)及び新規購入し、センターの分析研究機能の維持を図る。 ア デジタルPCR 6,908千円 → 6,548千円 イ LC/MS/MS 25,300千円 ウ フーリエ変換赤外分光光度計(F T - I R) 11,124千円 → 10,846千円</p> <p>(2) 事業計画 5か年計画(令和3年度～7年度) 令和3年度 ①デジタルPCR、②LC/MS/MS、③フーリエ変換赤外分光光度計(F T - I R) 令和4年度 ①有機炭素計、②紫外可視光光度計、③DNAシーケンサー、④バージ&amp;トラップGC/MS 令和5年度 ①高分解能GC/MS 令和6年度 ①蛍光X線分析装置、②GC/MS 令和7年度 ①イオンクロマトグラフ、②ガス暴露装置、③オープントップチャンバー</p> <p>(3) 事業効果 市町村等からの依頼による分析対応が的確にできる。</p> <p>(4) 補正予算の概要 分析機器の購入による契約差金に伴う減額 △638千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分)企画費(細目)環境保全対策費 (細節)環境保全対策費(積算内容)環境の監視調査・測定・分析、公害の規制等									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円									
予算額			財 源 内 訳				一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△638	△1,000					362	42,694	
現計額	43,332	43,000					332		